

第 2 回宇治市交通バリアフリー検討委員会での意見要旨

1. 第 1 回委員会での意見要旨
2. 重点整備地区選定の考え方について
3. 全体構想の改訂版(素案)について

1. 第 1 回委員会での意見要旨
意見なし
2. 重点整備地区選定の考え方について
意見 1 重点整備地区候補を 3 つに分けて、うまく整理されていると思いますが、「重点整備地区」と「駅の利便性向上等を検討する地区」とで位置付けにどのような違いがあるのですか？進め方は？
(事務局)重点整備地区では順次基本構想策定を行い、バリアフリー化を進めていくこととなりますが、「駅の利便性向上等を検討する地区」はこれらとは別に並行して周辺のまちづくりについて考えていくこととなります。
意見 2 障害者団体へのヒアリングの結果を受け、近鉄小倉駅の地下道の課題については、誰がどのような責任を持って、どんな解決を図っていこうとするのか、決まっていれば示してほしい。
意見 3 近鉄小倉駅の地下道に関しては近鉄の資産ではございますが、駅を利用されている方以外の市民の多くの方も通行されておられる現状から、ある意味一般道化したような地下道でございますので、当該自治体が主体となって対応していただきたいと考えております。

(事務局)近鉄小倉駅については、駅周辺を含め様々な課題があり、地元地域からも様々な要望をいただいております。また市内でも2番目に乗降客数の多い駅となっていることから、一番要望の多い地下道のバリアフリー化を含めたこの地区にふさわしい駅の周辺整備を総合的に考えていく必要があると考えており、駅の利便性向上等を検討する地区としております。

3. 全体構想の改訂版(素案)について

意見4 パブコメの冊子に平成32年度という目標年次が示されているが、どこから来た目標年次か注釈が必要と思う。

(事務局)平成32年度の前に「国の目標年次である」を追加します。

意見5 都市計画マスタープランという市の都市計画の担当者なら当たり前の用語でも補足が必要と考えます。

意見6 地区名の横に括弧書きで駅名が記載されているが、バリアフリー化ができていない駅とそうでない駅の違いが判るような工夫をしてください。

(事務局)注釈を入れるなどして改善を図ります。

意見7 障害者団体からのヒアリングの結果から具体的な対策をぜひ検討していただきたい。

(会長)今後もこのバリアフリー検討委員会は継続していきますし、個別の地区の検討も行っていくこととなりますので、具体的な対策については、今後良い案をこの会議の中で出していただければと考えております。